

ライフイズテック株式会社 事例紹介

2024.12.3



Life is Tech!



石川 孔明

ライフイズテック 取締役CFO / Impact Officer

起業、国内外における事業会社のM&Aや非営利組織のインパクト評価・ファンドレイジング等に取り組んだ後に2016年からライフイズテックへ参画。2018年より現職。

事業が生み出す社会的インパクトの調査や資金調達、事業計画策定、コーポレート全般などスタートアップらしく幅広く担当。インパクトスタートアップ協会事務局。



世界を変える力を、すべての人に。

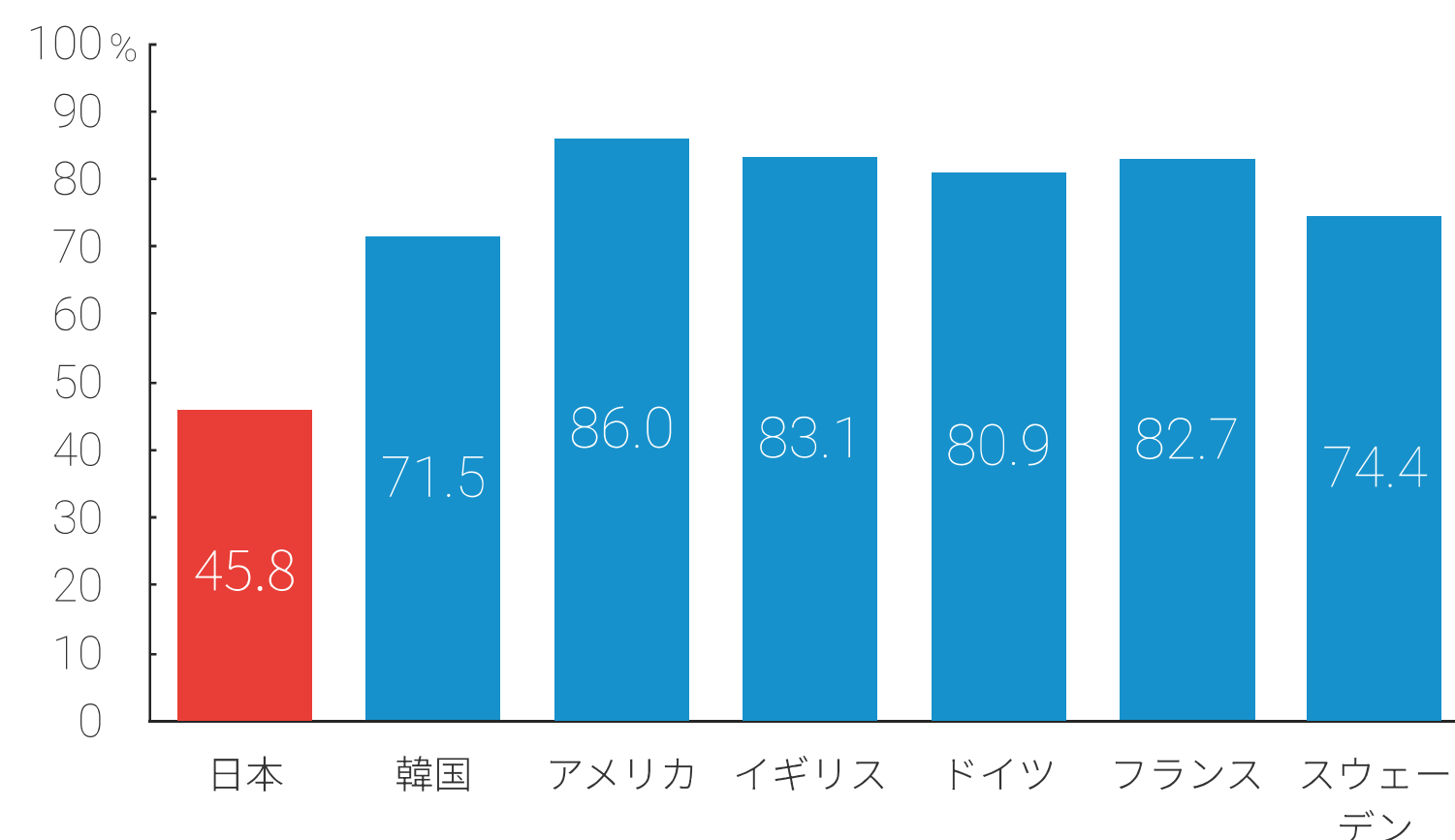
Possibility of the people, to the people.



子どもの心の充実

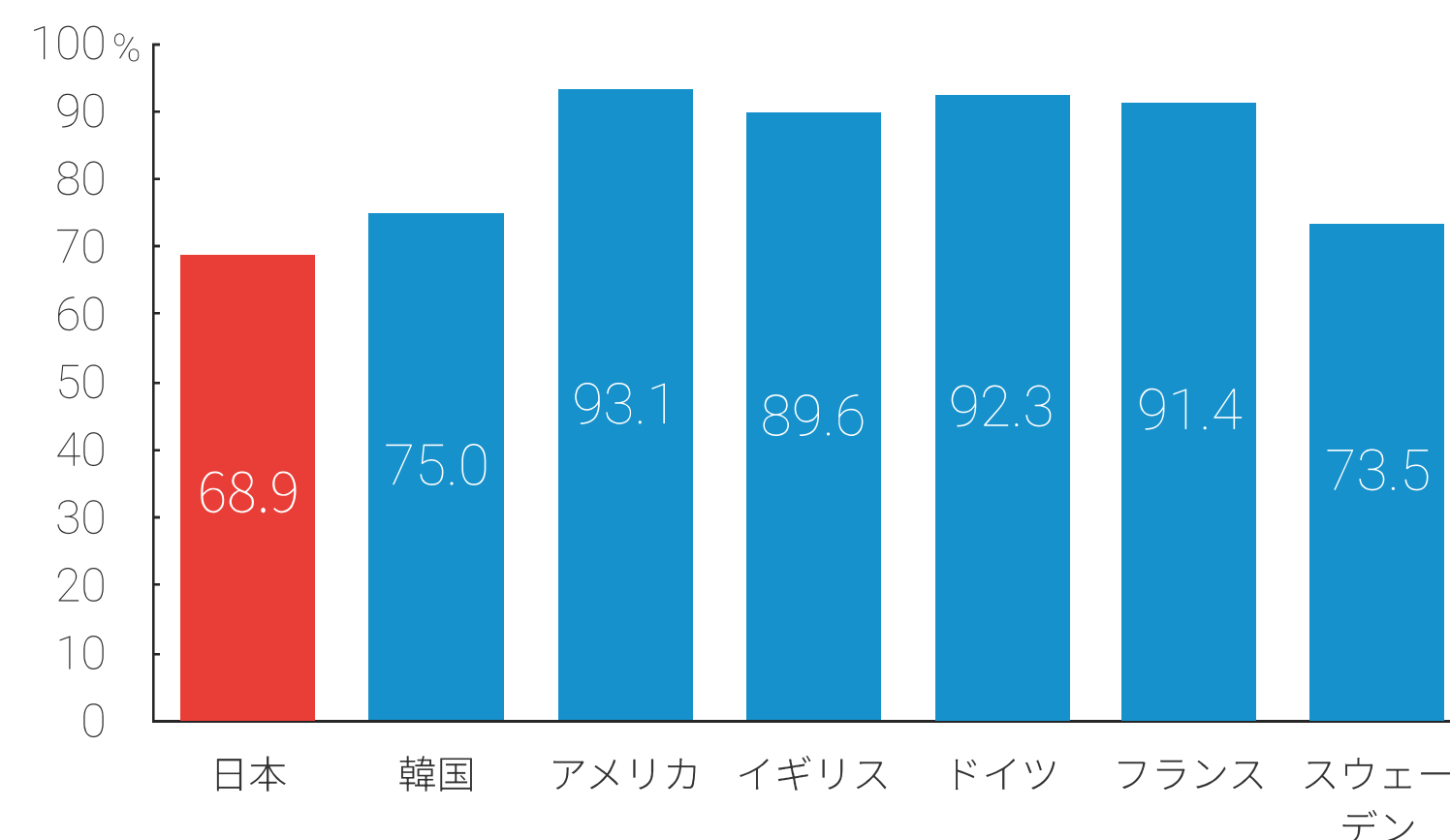
- 「自分自身に満足している」「自分には長所がある」(=自己肯定感を反映)は調査対象7カ国中で最下位
- 「私の参加により、社会現象が少し変えられるかもしれない」(=自己効力感を反映)も最下位

自分自身に満足している



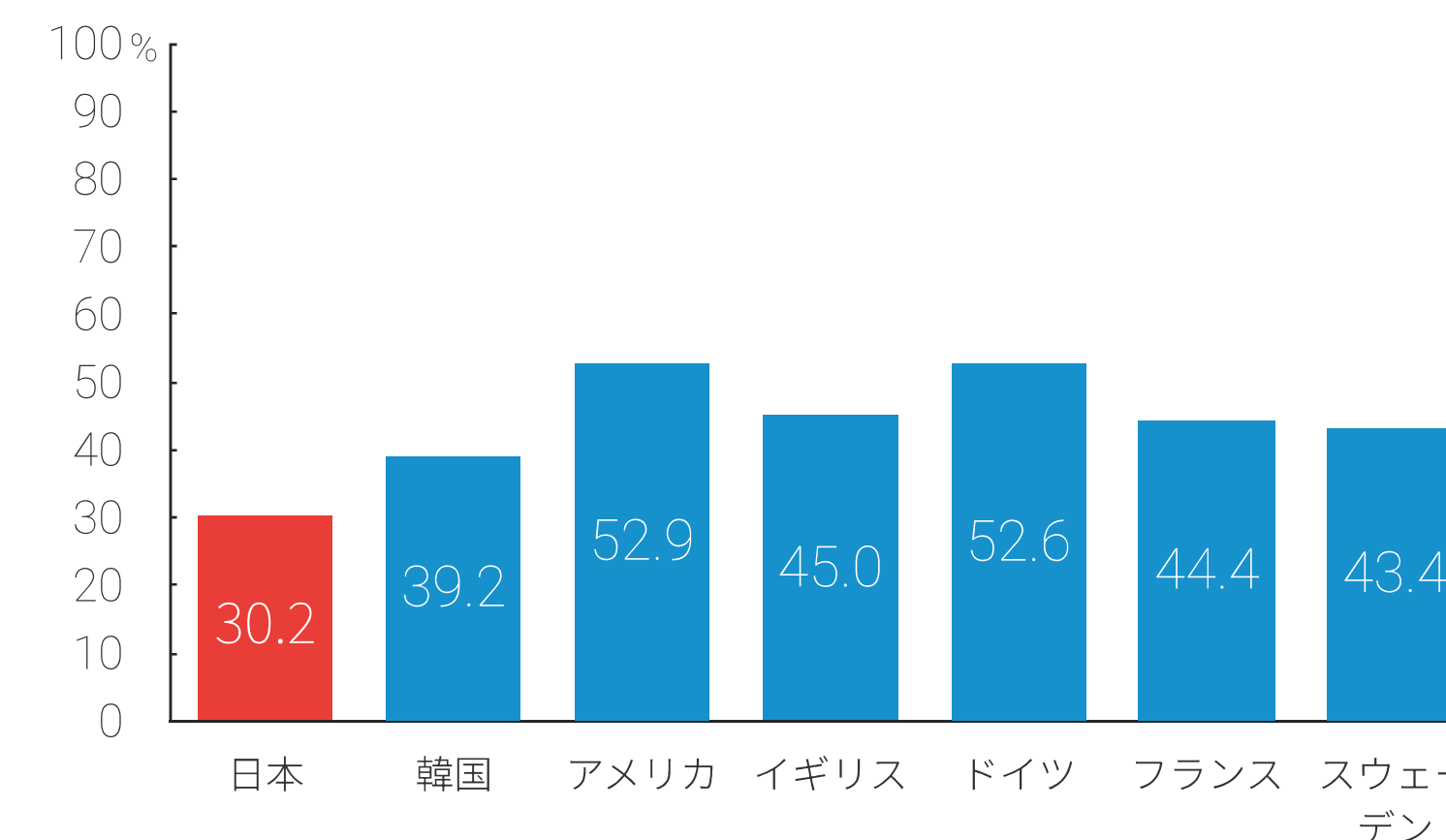
「次のような意見について、あなたはどのように考えますか。」との問いに対し、「私は、自分自身に満足している」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

自分には長所がある



「次のような意見について、あなたはどのように考えますか。」との問いに対し、「自分には長所があると感じている」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

社会現象が変えられるかもしれない

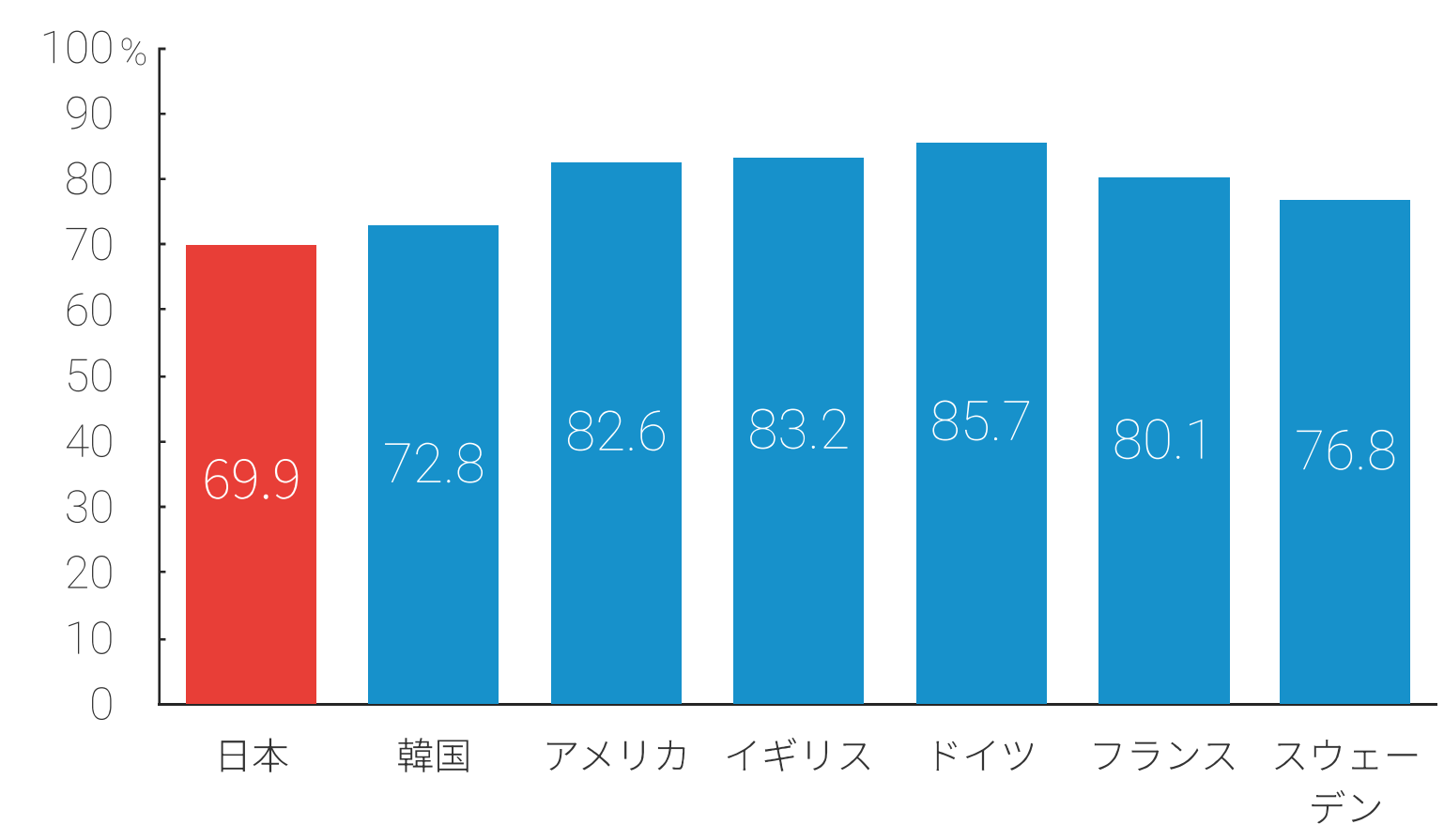


「次のような意見について、あなたはどのように考えますか。」との問いに対し、「私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

子どもの心の充実

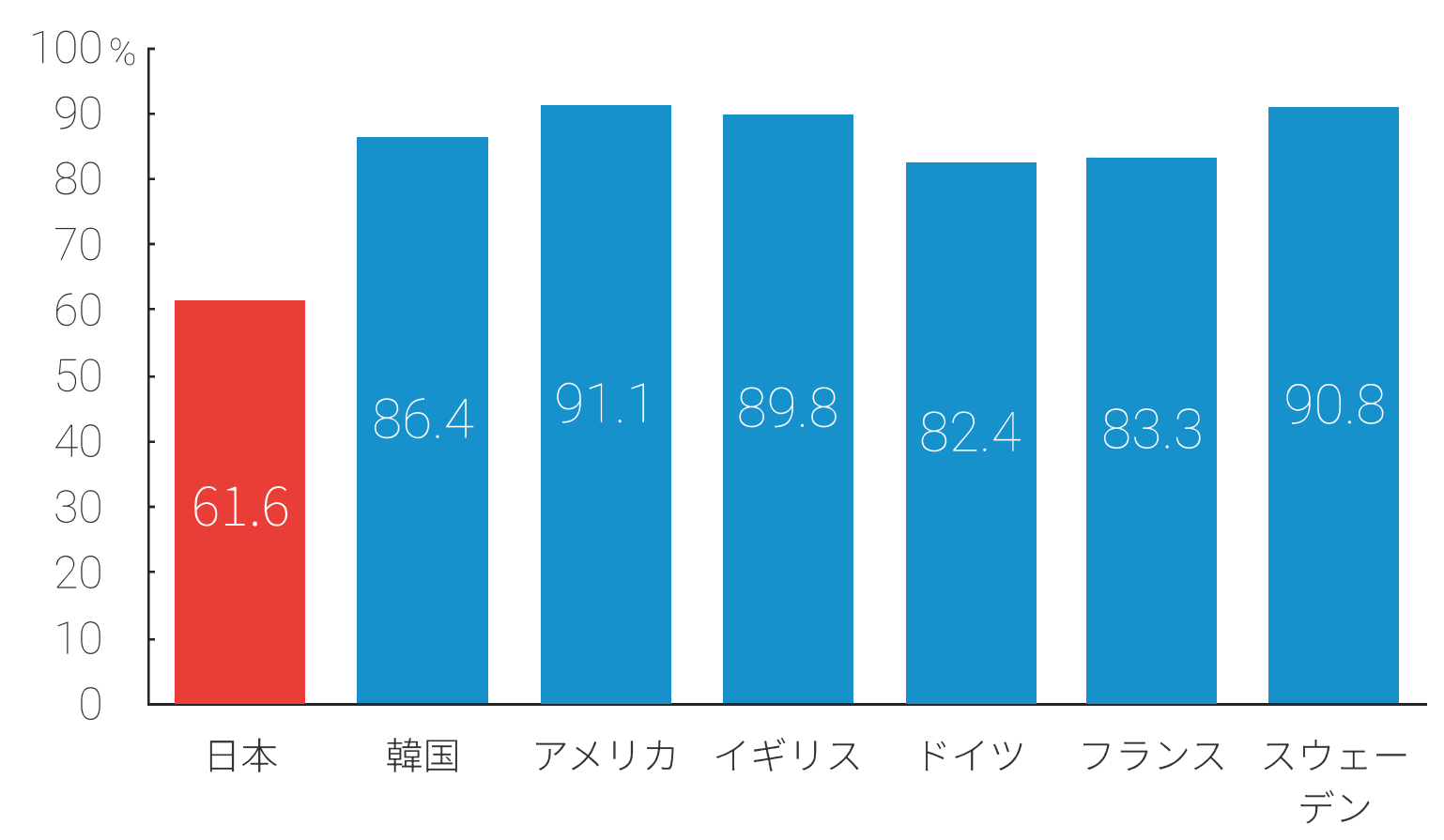
- 「学校生活の満足度」は7割が満足と回答するも、調査対象国の中では最下位
- 「将来への希望」「40歳になったとき幸せになっている」でも最下位となっている

学校生活の満足度



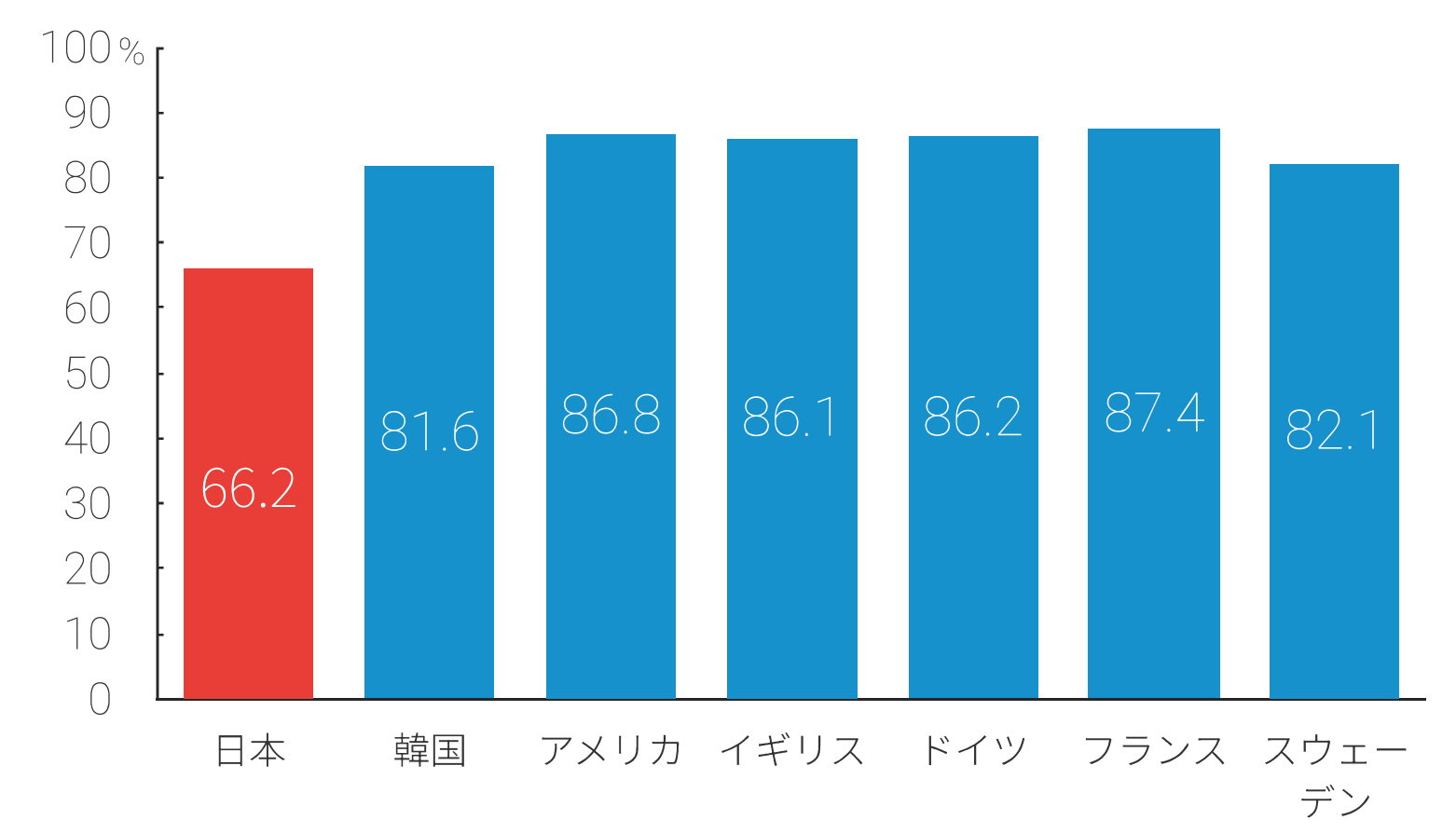
「あなたは、学校生活に満足していますか、それとも不満ですか。」との問いに対し、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した者の合計。

将来への希望



「あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。」との問いに対し、「希望がある」「どちらかといえば希望がある」と回答した者の合計。

40歳になったとき幸せになっていると思う



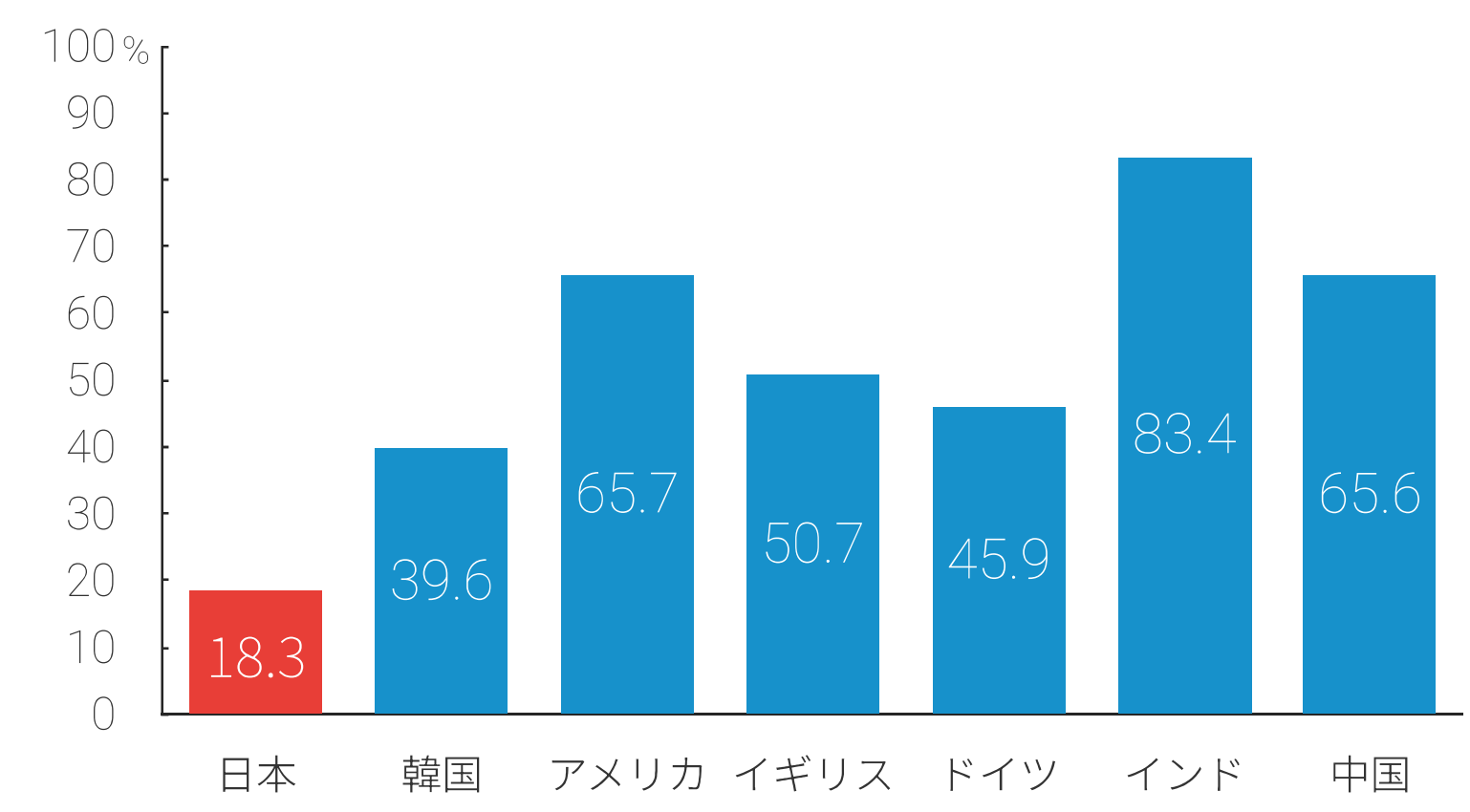
「あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。」との問いに対し、「幸せになっている」「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

※データ出典：内閣府「子ども・若者白書」平成26年版。調査対象は満13～29歳

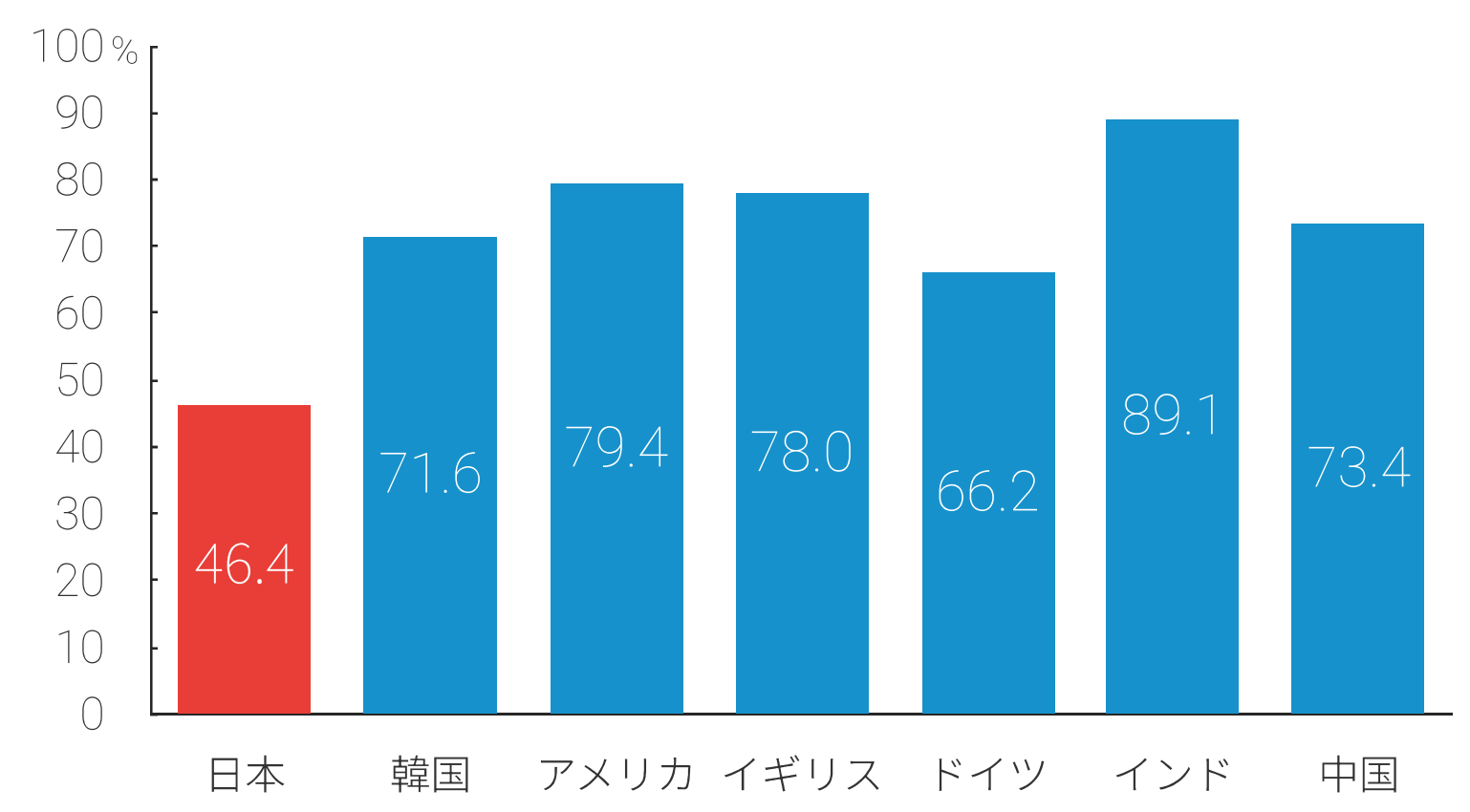
イノベーションマインド

- 「自分の力で社会を変えていける」と思える子どもがあまりにも少ない
- 「解決したい社会課題がある」 (=課題を発見できる) 子どもも少ない
- 「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」 スコアも低い

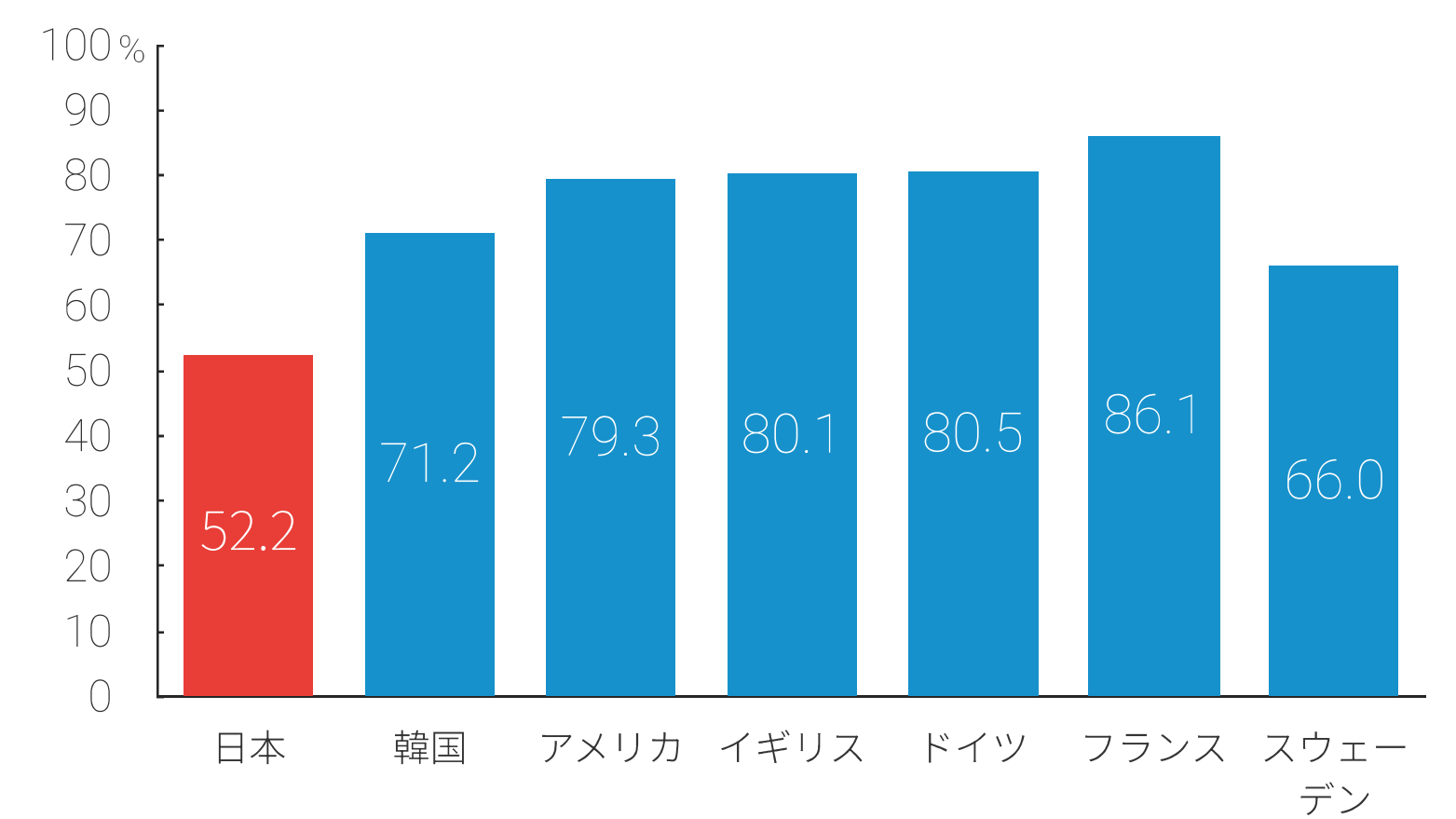
自分で国や社会を変えられると思う



自分の国には解決したい社会課題がある



うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む



「次のようなことがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

※データ出典：日本財団「18歳意識調査」第20回(2019年調査)、内閣府「子ども・若者白書」平成26年版。調査対象は満13～29歳

子どもの心の充実

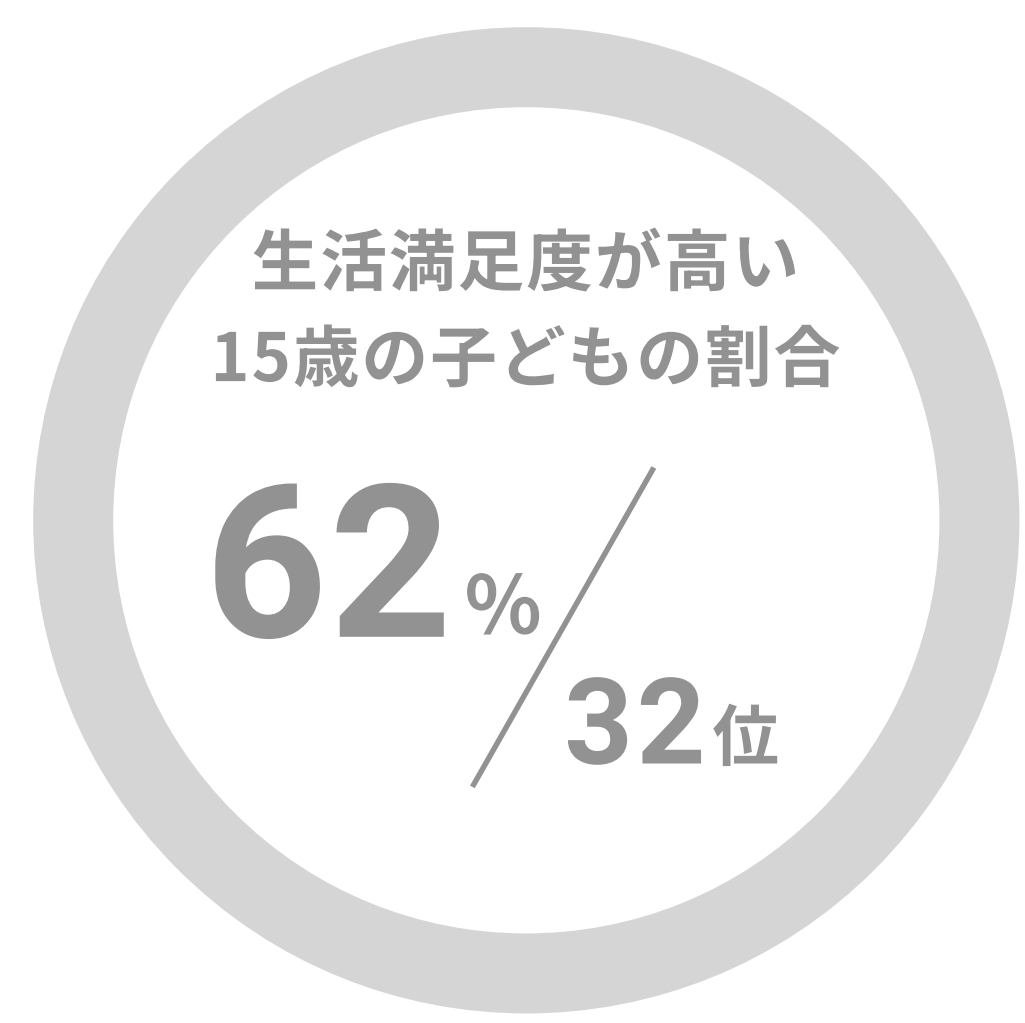
- 日本の子どもは身体的幸福度は1位なのに対し、精神的幸福度は37位 (38カ国中)
- 生活に満足している子どもの割合は3人に2人以下



13位：韓国
19位：アメリカ



1位：オランダ
32位：アメリカ
34位：韓国



1位：オランダ (90%)
28位：アメリカ (71%)
30位：韓国 (67%)



1位：ギリシャ (1.4人)
29位：韓国 (7.3人)
33位：アメリカ (8.7人)

生活全般の満足度に関する設問（「キャントリルの梯子」尺度）で、0～10のうち6以上を選んだ子どもの割合。

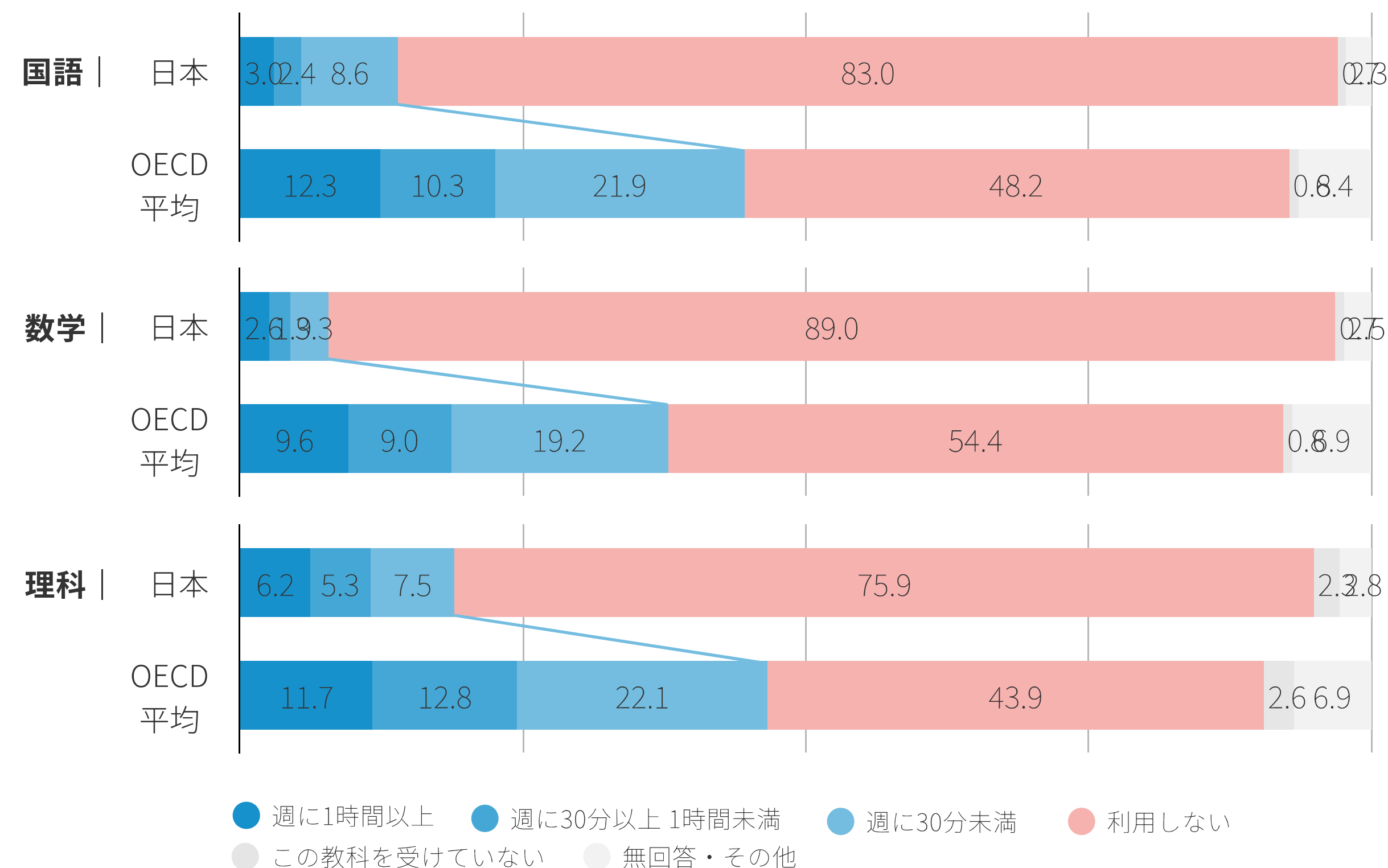
高い教育水準

- 15才時点での学力レベルは世界上位。特に理数系は世界トップクラス
- ただしICT活用は世界に遅れ (2018年データ)

生徒の学習到達度

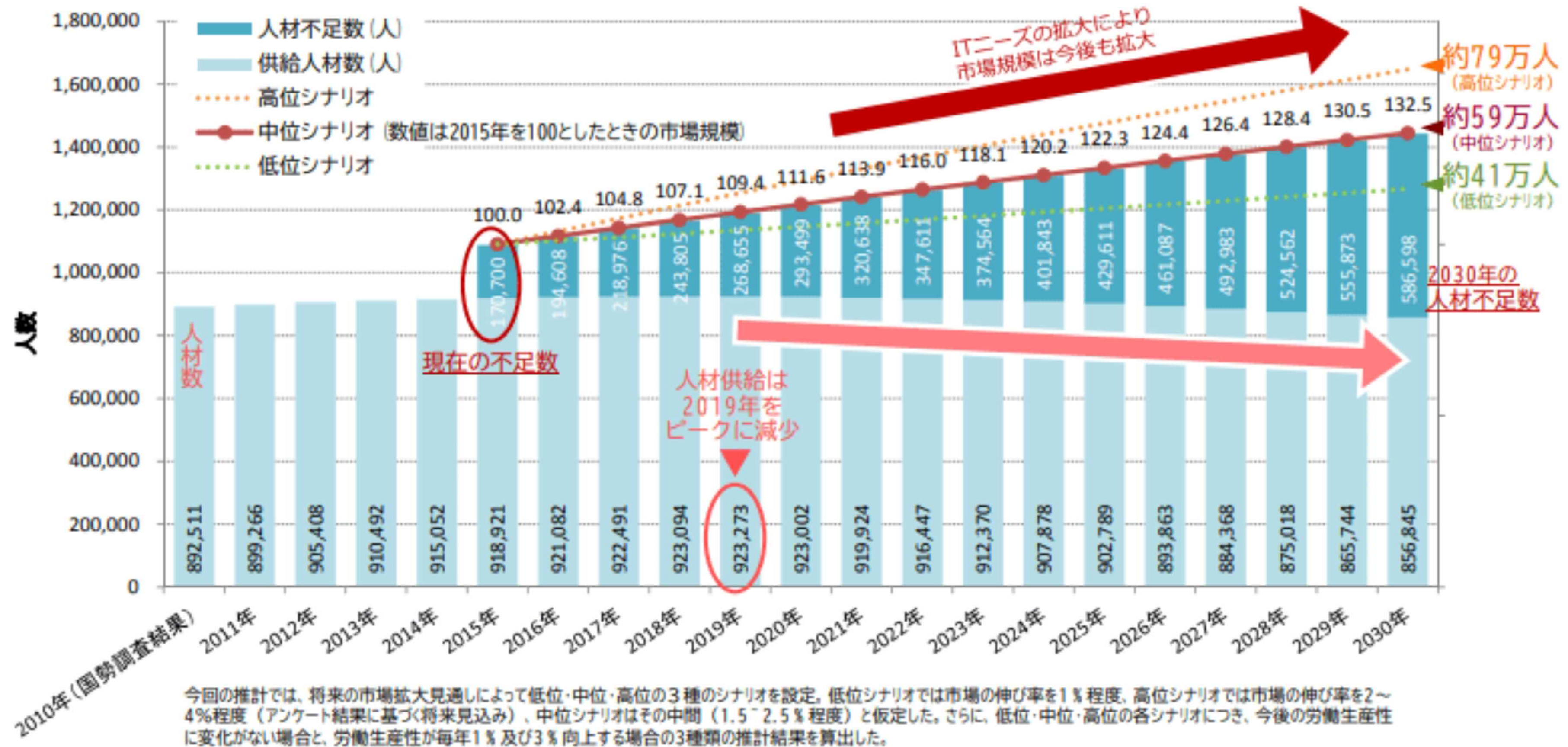
	読解力	数学的リテラシー	科学的リテラシー
1	エストニア	日本	エストニア
2	カナダ	韓国	日本
3	フィンランド	エストニア	フィンランド
4	アイルランド	オランダ	韓国
5	韓国	ポーランド	カナダ
6	ポーランド	スイス	ポーランド
7	スウェーデン	カナダ	ニュージーランド
8	ニュージーランド	デンマーク	スロベニア
9	アメリカ	スロベニア	イギリス
10	イギリス	ベルギー	オランダ
11	日本	フィンランド	ドイツ
12	オーストラリア	スウェーデン	オーストラリア
13	デンマーク	イギリス	アメリカ
14	ノルウェー	ノルウェー	スウェーデン
15	ドイツ	ドイツ	ベルギー
16	スロベニア	アイルランド	チェコ
17	ベルギー	チェコ	アイルランド
18	フランス	オーストリア	スイス
19	ポルトガル	ラトビア	フランス
20	チェコ	フランス	デンマーク

1週間のうち授業でデジタル機器を利用する時間



※出典：OECD 生徒の学習到達度調査2018年調査 (PISA2018)

2030年には80万人が不足の見込み、12兆円の経済損失



問題解決の方向性



子どもたちの 心の充実

- 自己肯定感・自己効力感を育む教育デザイン
- キャリアプランを描きやすい教育デザイン
- 多様な個性が評価される仕組みづくり



未来をつくる 人材の育成

- DSやAIを中心としたデジタルテクノロジー教育
- イノベーションマインドセットの育成
- プロジェクト遂行に必要な非認知能力の育成



学校システムの変革期

- 授業準備や事務業務の負担削減
- 外部人材も含めた雇用の活性化



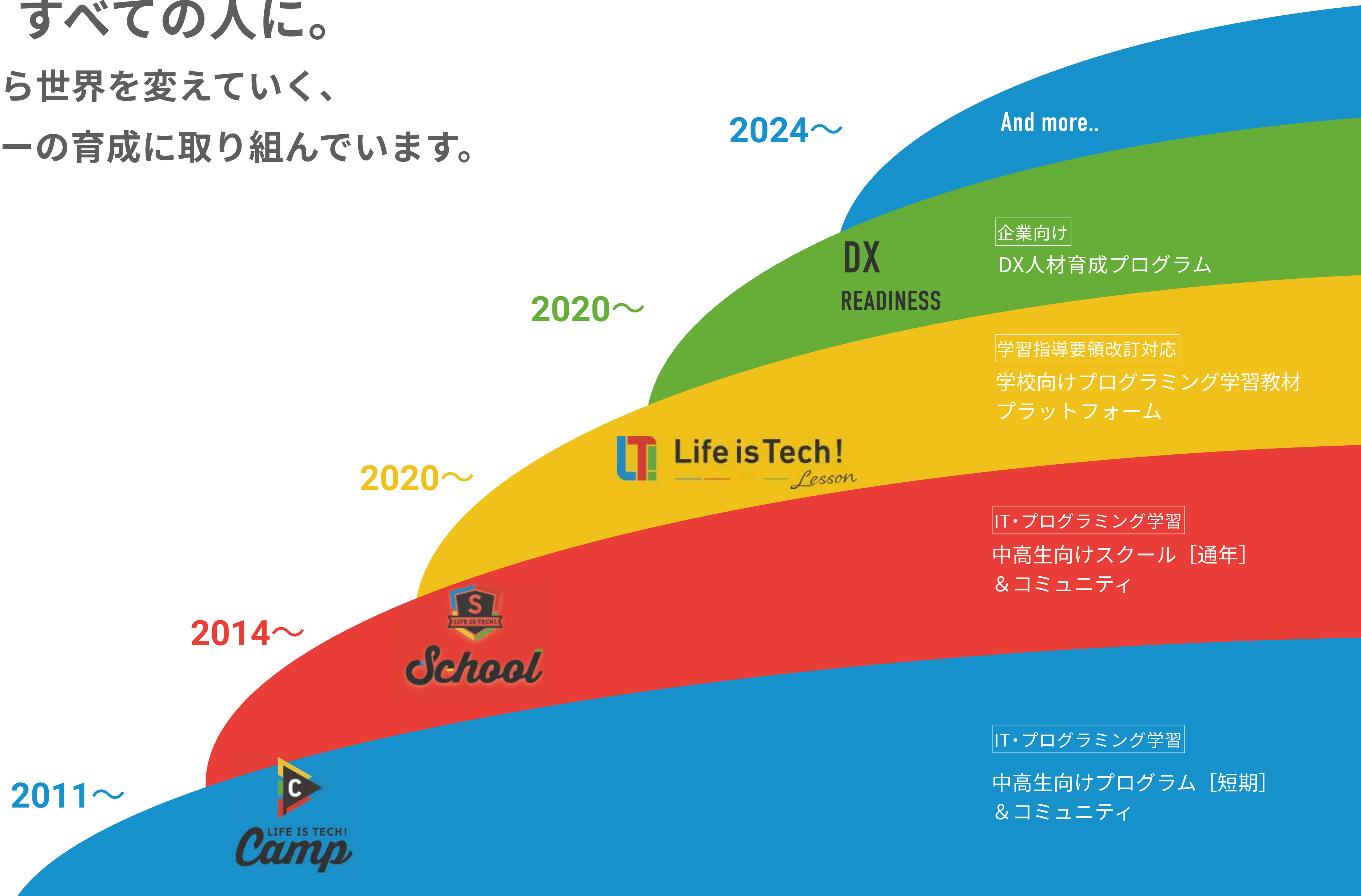
そのための教育変革・デジタルイノベーター育成

世界を変える力を、すべての人に。
 身の回り半径1メートルから世界を変えていく、
 次世代デジタルイノベーターの育成に取り組んでいます。

累計ユーザ250万人+

従業員数：170名

累計調達額：57億円



中学校・高校の情報教育カリキュラムを提供



自治体による導入

中学校

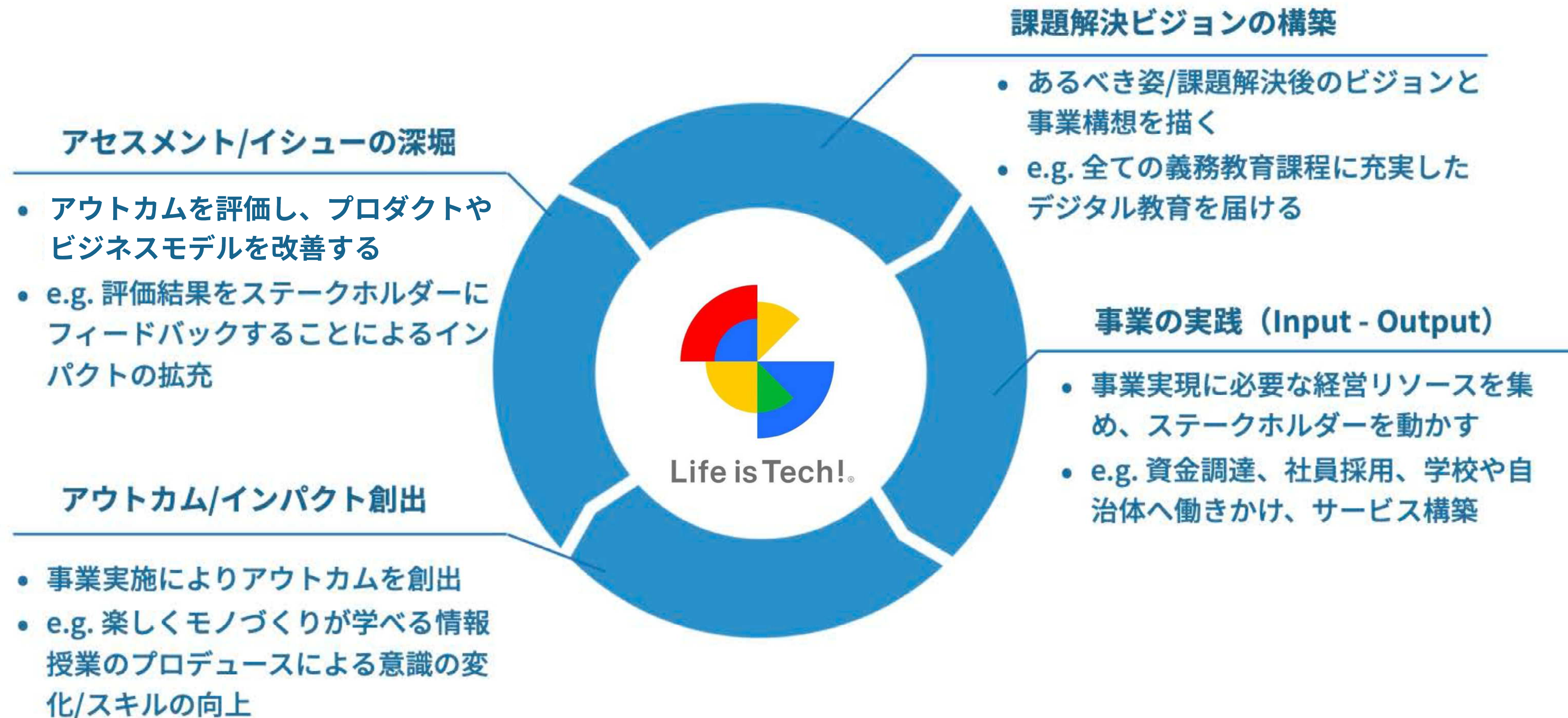
200+ 市町村

高校

20 都道府県

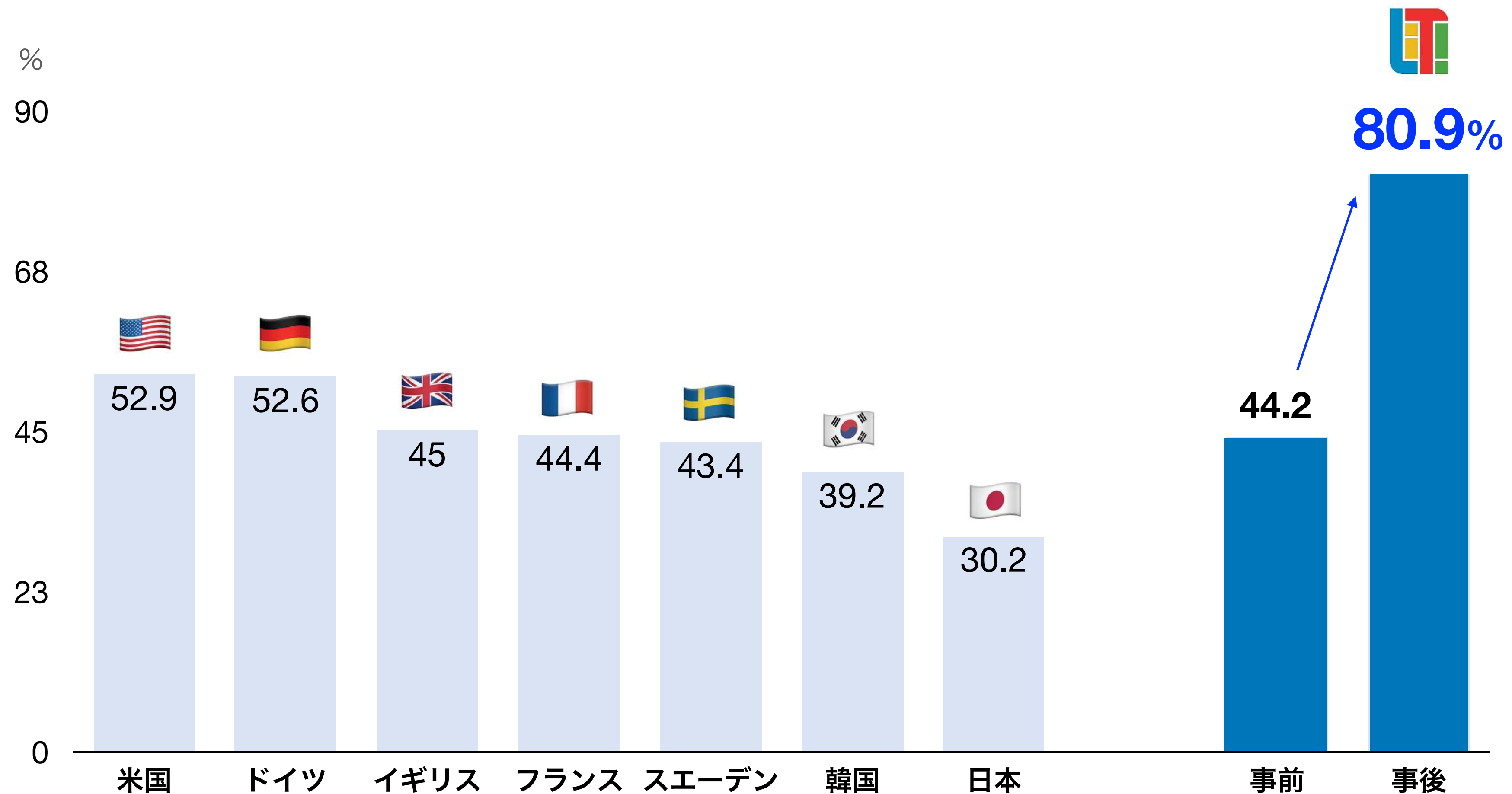


IMM：課題解決起点の事業マネジメント体制



中高生へのインパクト -国際指標比較-

Q.自分の参加によって社会現象が変えられるかもしれない



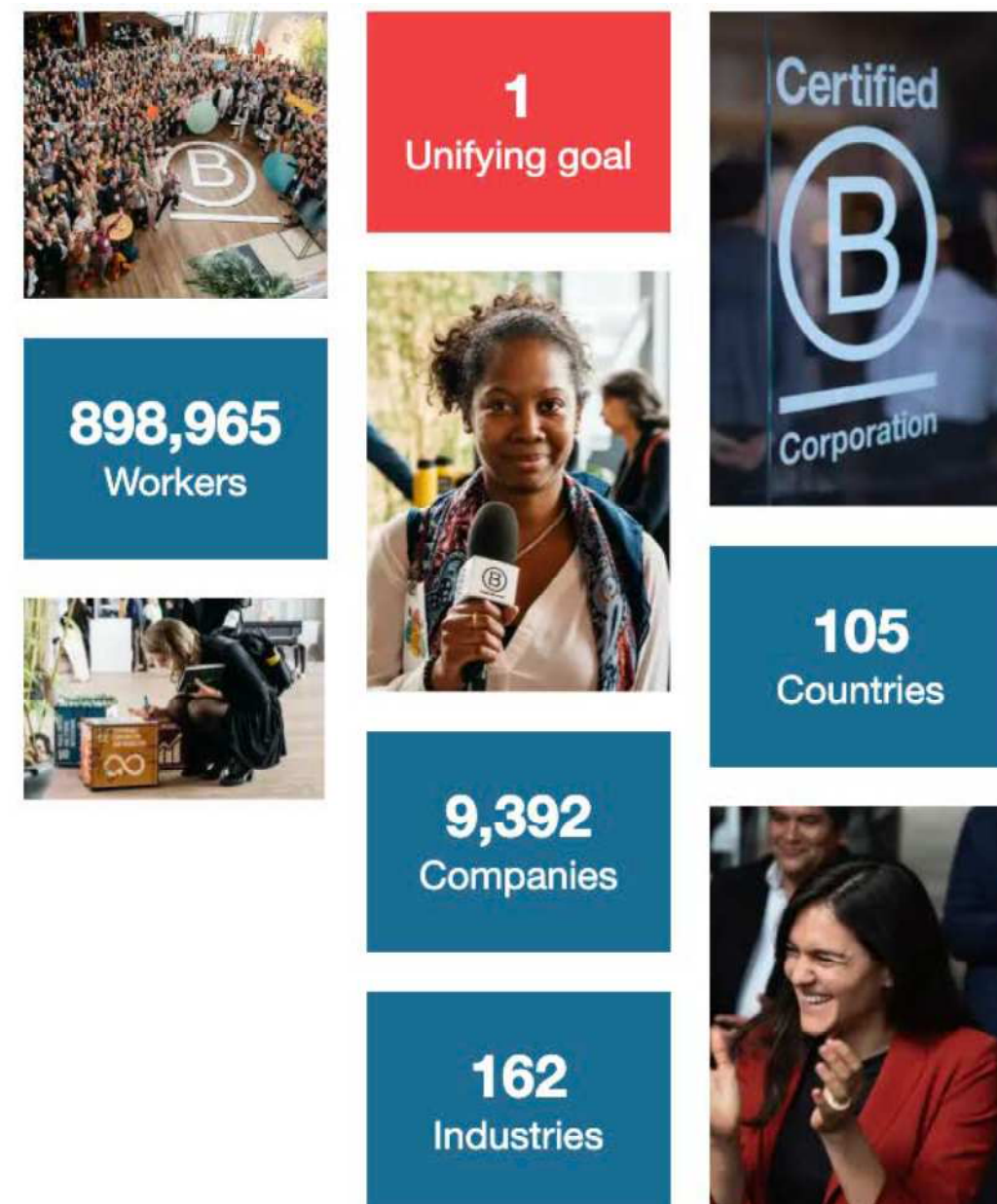
B Corp認証：社会や環境に配慮したインパクトを重視する企業に対する認証制度を取得

Make Business a Force For Good

B Lab is the nonprofit network transforming the global economy to benefit all people, communities, and the planet.

We won't stop until all business is a force for good.

Donate today



- 社会や環境を含む全てのステークホルダーに対する利益を表現
- グローバルで105カ国、約9,400社が認証を取得
- +200の設問に回答し、80点以上で認証取得可能
- ミッションドリフトを防ぐための仕組みにもなる
- その他にもJ Startup Impact認証などを取得 (経産省)



J-Startup
Impact